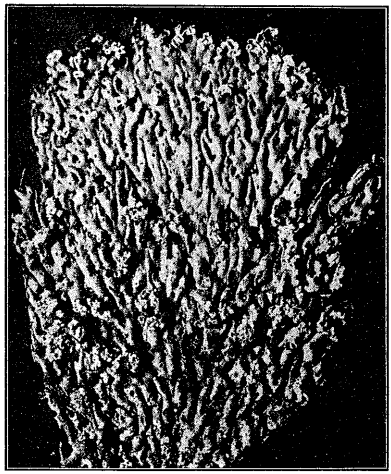
之ヲ要スルニ本邦産ヒポギムニア及メネガッチア兩亞屬ノモノデハ先ヅ八種ハ明ニ區別ガデキル此他尚一種疑問ノ地衣ヲ握テ居ルカラ其内ニ完全ノ標本ヲ得ルコトガデキタナラバ更ニ筆ヲ改メテ同好諸君ノ御批評ヲ仰ガフト思テ居ル、諸君ニ於カレテモ上記以外ノモノヲ入手セラレタ時ハ御通知下サル樣願ヒマス

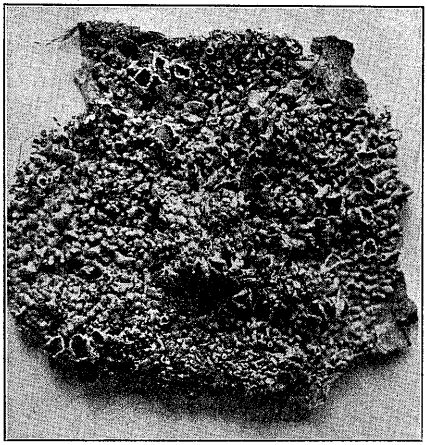
○古事記ニ見エシ植物（承前）

理學博士　白井光太郎

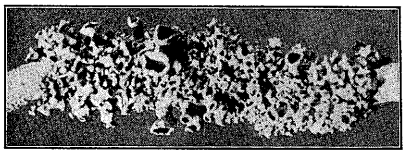
ソレカラ天之日影トイフモノガアリマス、是ハ「天宇受賣命手ニ次繫天香山之天之日影ニ而、爲レ鬘ニ天之眞折ニ而、」トイフコトガ天岩戸ノ前デ天宇受賣命ガ神樂ヲシタ時ニ用キタモノデアリマス、此天之日影トイフモノハドウ



Parmelia pertusa SCHAER. sorediose form.
せんしごけ（粉芽アルモノ）



Parmelia Asahinae YASUDA
ふくれせんしごけ（樹幹着生）



Parmelia Asahinae YASUDA
ふくれせんしごけ（枝椏着生）

イフモノカトイフト是ハ日本書記ニハ日影ヲ蘿トイフ文字ガ用キテアル、之ヲひかげト讀マシテアル、此蘿ヲ和名鈔デ見ルト蘿ハ「比加介女蘿也」ト書イテアル、サウシテ同ジ和名鈔ニ松蘿トイフモノガアッテソレニ一名女蘿トアル、サウシテ「和名萬豆乃古介一名佐流乎加世」トアル、是デイヒマストまつのこけ、さるおかぜガひかげトイフ植物ニナル、此さるおかぜトイフモノハ高山ニ行キマスト先ヅ總テノ木ノ枝カラ青イ紐ノヤウナモノガブラ下ッテ居ルソレデアル、ひかげハ之ニナッテシマウ譯デアル、併シひかげのかつらトイフモノハ今日デハ別ニアルノデ今日ひかげのかつらトイフ植物ハ是ハ非常ニ長ク延ビルモノデアリマシテ地ニ這ッテ成長スルモノデアリマス、ソレデ此あまのひかげトイフモノハさるのおかぜカ今日ノひかげトイフモノカソレガ一寸判斷ガムヅカシクナッテ來ルノデアリマス、ソレデ色々人ニ依ッテ說ガ分レテ契冲トイフ學者ハ今日ノひかげのかつらハ石松トイッテ地ニ這ッテ出來ル所ノモノヲあまのひかげニ當テヽ居ルノデアリマス、是ハドチラガ宜イカ一寸判斷ガムヅカシイノデアリマス、別イフ細イ方ヲひかげニ當テヽ居ルノデアリマス、是ハドチラガ宜イカ一寸判斷ガムヅカシイノデアリマス、別ニさるのおかぜノ外ニひかげのかつらトイフノガ今日アルカラ別ノモノトシテモ差支ナイノデアリマス、サウスレバ和名鈔ガ間違ッテ居ルトイフコトニシナケレバイケナイコトニナリマス

ソレカラ今是ニ出タ所ノ天之眞析トイフモノガアル、宇受賣命ガ鬘ニシタモノトアル、是ハ通例古事記傳デモ其他普通コレマデノ解釋デハまさきトイフモノハつるまさきトイフ、まさきノ類ニつるまさきトイフモノガアリマスガ、之ガ天之眞析デアルトイフコトニナッテ居ル、併シナガラ此つるまさきトイフノハゴツ〳〵シタ木デアリマシテ其枝ガ本當ノ蔓ニハナラナイノデアリマス、鬘ナドニスルコトハ一寸ムヅカシイノデアリマス、且ツ此昔ノまさきトイフモノハ冬赤クナルモノトイフコトニナッテ居ル、卽チ古今集ナドニアル

み山にはあられふるらしとやまなる　まさきのかつらいろつきにけり

まさきのかつらトイフノハ紅葉スルモノデアリマスガつるまさきトイフノハ紅葉セヌモノデアリマス、サウシテ見ルト昔ノまさきトイフノハ今日ノつるまさきデハナイヤウデアリマス、サウスルト他ニ何カアルカトイフ

トコレハ方言デまささトイフモノガ別ニアルノデアリマス、ソレハ非常ニ能ク紅葉スルモノデアリマス、此方言ニ依ルト古代ノまささトイフモノハ今日ノつるまささでナクシテ今日ノていかかづらデアリマス、今日ノつるまささトイフモノハ和名鈔ナドニ依ルト杜仲（はひまゆみ）トイフモノガつるまささデアルニ相違ナイ、古事記時代ニまささトイッタモノハ今日ノていかかづらトイフモノデアルヤウデアリマス、ソレハドウシテ分ルカトイフト之ガ方言ニ殘ッテヲルノデアリマス、伊豆ノ三宅島デハ此ていかかづらヲまささのかづらトイッテヲリマス、又ほんまささト呼ンデヲリマス、ソレカラ八丈島デハまささ一名まささふぢトイッテヲリマス、ていかかづらトイフモノハ三宅島デまささのかづら、ほんまささ、八丈島デハまささ、まささふぢ又薩摩ノ大島デモていかかづらヲまささかづらトイッテヲリマス、斯ウイフヤウナ邊鄙ノ方言ニまささトイフ名ガ殘ッテヲリマス、サウシテ非常ニ紅葉スルモノデアリマス、サウシテ其蔓ガ細クアッテ鬚ナドニスルノニハ至極適當デアル譯デアリマス、ソレデ此古事記ノまささのかづらイフモノハ今日ていかかづらトイフ此植物デアルトスル方ガ先ヅ適當デアルト思フノデアリマス

ソレカラ蒲黄（がま）トイフモノガ矢張リ古事記ニアル、コレハ兎ガ何カ怪我シタ時ニがまヲ附ケタトイフコトガアリマス、コレハ大國主命ガ日本ノ醫者ノ先祖デアルトイフコトニナッテヲッテ兎ノ病氣ヲがまデ治療シタトイフコトニナッテ居ル、此がまトイフモノハ二通リアル、今日ノがまトイフモノハ蒲黄トイフ字ヲ用キルノデアリマス、植物ヲ香蒲トイッテ花ノ方ヲ蒲黄トイッテ居ル、之ニひめがまトイフノガアリマス、此蒲黄トイフモノハ能ク痛ミヲ治メ血ヲ治メル、金創ニ效ノアルトイフコトハ本草ニモ載ッテ居ルノデアリマスカラ血ヲ吐タリ鼻血ガ出タリ何カシタ時ニ之ヲ内服スルトソレガ治ル、又舌ガ大變腫レタ時ニモ之ヲ用キルト效ガアルトイフヤウナコトガアリマス、日本ノ醫術ニ關係ガアル植物デ此標本ガがまデアリマス、蠟燭ノヤウナ花ガアリマス、之ヲ毀スト云フト蒲黄ト云フ毛ノ生エタ實ガアリマス、ソレヲ火傷ヲシタ時ニ附ケタト云フノデアリマス、之ニ二通リアッテ幅ノ廣イノト細イノトアッテ細イモノハひめがまト云フモノデスベテがまノ葉ハ蓆ヲ織ッタリ

又ハ履キ物ノ緒ナドヲ造ルノニスルモノデアリマス

【牧野云フ】上文ニ始メ蒲黃ハ花ダトアリ次ニ蒲黃ハ毛ノ生エタ實ダトアルガ元來蒲黃ハ「花上黃粉名蒲黃」「蒲黃即花中蕊屑也細若金粉當欲開時便取之」ト時珍ガ述ベタ樣ニ是レハ其花粉デアル、此事實ハ白井君ノ疾ニ知悉シテ居ラレテ決シテ間違フベキ筈モナイ明白ナ事デアルカラ右ハ全ク筆記者ノ聽キ違ヘカ又ハ書キ違ヘタモノト信ジテヨイト私ハ思フ

ソレカラ楓ノ字ガアル、之ヲかつらト讀ンデ居リマス之ガ湯津楓ナドトイッテ古事記ニ出テ居リマスガ楓ノ字ヲかつらト讀ムノハ當ッテ居ラヌノデアリマス、今日デモ唐時デモ支那デ楓トイッタモノハ日本ノかつらトハ全ク違ッタモノデアリマス、古事記時代ノ唐ノ新修本草ヲ見テモ其註ヲ見ルト楓ト云フノハ樹高大葉三角五月研樹爲坎十一月採脂、斯ウ云フコトニナッテ居ッテ葉ハ三角ト云フコトデアリマシテ今日支那デ楓ト云フ木ハ日本ニハ無イ木デアリマス、日本ニ始メテ享保頃支那カラ取寄セテ楓ト云フモノハ斯ウ云フモノデアルト云フコトガ分ッテ居ル、之ヲもみぢニ當テ、居ッタノモ間違ッテヰルノデもみぢトモ全ク違ッテ楓ト云フ實際ノ植物ハ脂ガ出テ楓子香ト云フ香ヒノアル脂ガ取レル植物デアリマス、コレハ當テル字ガ間違ッテ居ッタノデアリマス、古事記時代ニハ實物ノ研究ガナクテ楓ト云フ字ヲかつらニ當テルノガ間違ッテ當テタノデアッテかつらト云フ植物ハ葉ノ形モ三角ニナッテ居ラナイ、唯香ヒガアルト云フコトガ少シ楓ニ似テヰルトイヘバイヘルノデアリマス、此かつらト云フ木ハ其木ノアル場所ヘ近ヅクト一種ノ香ヒガスル、木ノ何處カラ香ヒガ出ルカ分ラナイガ葉カ枝ノ皮カラ出ルノデアリマセウガ一種ノ香ヒガアル、コレハ深山ニアルかつらト云フモノデかつらトモ云フノデアリマスガ全ク字ノ當テ方ガ違ッテヲッタノデアリマス、此かつらヲ日本書記ニハ杜ノ字ガ使ッテアル、杜木ト書イテアル、ゆつかつらノ所ニ此楓ガ間違ッテヰルコトニ氣ガ付イテ斯ンナ字ヲ使ッタノデアリマス、併シ日本書記ノ方ニ杜ヲかつらトシマシタ此杜モかつらニ當ッテヲラナイ、コレハ桂ノ字ノ間違ヒダト云フコトニシテアルノモアリマスガ桂ノ字ハ又別ニ乎加都良ト云フモノガ和名鈔ニアリマスガ和名鈔ニハ楓ガめかつらデ桂ガをかつらト云フコトニナッテ別ノ木ニナテ居リマス、此めかつらニ杜ノ字ヲ當テタノモ矢張リ間違ヒデアル譯デアリマス（ツヾク）

古事記ニ見エシ植物（承前）